

ARCHITECTURE OF KITAKYUSHU

～時代で建築をめぐる～



ごあいさつ



北九州市長 北橋 健治

北九州市には、個性的で魅力ある都市景観の創出に貢献する優れた建築が数多くあります。古くから政治や産業、交通の要衝であったことを象徴する、城下町や宿場町の歴史的なまちなみを感じさせる建築、港湾都市として国内外の都市と交流を積み重ねてきた伝統と風格を備えた建築、戦前から戦後にかけて工業都市として日本の経済成長を支え、都市の発展に貢献してきた建築などが、市内のいたるところで見受けられます。

また、近年においては、都市の街並みに新たな色彩を加えるスポーツ、文化、商業施設の建築も生まれています。

建築は、都市の魅力を高めるだけでなく、時代を超えて地域に根付き、人々の暮らしに溶け込み、人々の大切な思い出を呼び起こすツールとして、また、時には建築の歴史やその時代背景に思いを馳せるきっかけとなるものとして、貴重な役割を果たしています。海外においても、フランスでは、芸術の様々な分野の中で「建築」に対する評価が非常に高いとされています。

このような意味において、本市に今なお優れた建築が数多く存在し、大切に受け継がれていることは、かけがえのない「財産」であります。

今年、本市を舞台に「東アジア文化都市 2020 北九州」が開催されます。国内外から多くの人々が本市を訪れ、本市が世界中から注目されます。

この機会に、市内の優れた建築を地域資源として最大限に活かし、我がまちの魅力を世界に向け発信することで、都市イメージの向上やシビックプライドの醸成、インバウンドの増加を図り、「創造都市・北九州」を推進していく弾みにしたいとの思いで本冊子を作成しました。

これからも本市はSDGs達成による「日本一住みよいまち・北九州市」の実現に向け取り組みとともに、文化・芸術の力を産業振興や地域活性化に活かす創造的なまちづくりを進めてまいります。

結びに、本冊子の製作にあたり、貴重なご意見やご協力をいただきました関係者の皆様に、深く感謝を申し上げます。

令和2年3月

北九州市景観審議会会長 赤川 貴雄

北九州市はその工業都市としてのイメージと裏腹に、自然景観の多様な都市であることは北九州市民が日々感じ、また来訪者も意外に感じるのではないかと思います。背後にそびえる皿倉山や、洞海湾・関門海峡などの自然景観をバックに多様な建築が建てられてきたが、明治以降の近代化の流れの中で国家を支える製鉄業などに対して集中的に多大な投資が行われるに際して、建築物にも新しい建築技術が積極的に導入された結果、さまざまな近代建築の実験場の様相を呈していた。

小倉では、城下町としての都市構造の上に軍都が形成され、門司港では大陸への玄関口として先進的な建築が建てられ、八幡では製鉄業に関連して企業の本社機能にふさわしい重厚な建物が、若松では港湾物流に関する近代的な建築群が建てられた。同じ地域にこれほど多様な建築群が集結している都市は珍しいのではないかと考える。

近代以降の戦後期には村野藤吾が民主主義社会のなかでの市民のための建築を市民会館や銀行建築で模索し、高度成長期には磯崎新が伝統にとらわれない抽象的な幾何学を用いた図書館や美術館を設計した。しかし村野も、磯崎も、その建築手法にかかわらず、北九州の自然景観に呼応してそのデザインの根拠としている。村野の八幡市民会館とひびき信用金庫本社ビルは八幡駅からの緩やかに上昇しながら皿倉山に伸びる軸線道路も建築を構成する大切な要素であり、磯崎の北九州市立美術館は工業地帯を望む高台への急斜面が中央ホールの吹き抜けのプロローグとなっており、ほかの地では代替不能な唯一無二性を有する。

若戸大橋は、土木構築物であるが、ケーブルによる吊構造という先進的な構造形式は、その構造を成立させる鉄鋼業がこの地に栄えていなければ、おそらく試みられなかったのではないかと考える。

北九州の都市基盤と地形が生み出した建築群はぜひ実地で見ていただきたい。



日本近代産業の発展の一翼を担ってきた北九州市。

この都市には、世界遺産や文化財、近代化産業遺産等、評価の高い魅力ある建築が数多く存在します。今回、市内の魅力ある建築や景観について、時代と場所を切り口として、写真を中心に紹介する冊子を作成しました。

これをきっかけに、建築がもつ物語や都市の歴史について認識を深め、まちを楽しむ建築巡りをしてみませんか。

北九州市の建築 年表	1	1990年代以降	
		リバーウォーク北九州	31
1600年代頃～1800年代頃		夜景	39
小倉城	3	北九州市の建築 位置マップ	43
1800年代頃～1950年代頃			
門司港駅	7		
辰野金吾氏による建築群	22		
1950年代頃～1990年代頃			
若戸大橋	23		
磯崎新氏による建築群	27		
村野藤吾氏による建築群	30		

凡例

番号(年表と位置マップに対応)

00 2020年3月現在の名称(竣工時の名称)

所在地/建物などがある場所

竣工/完成した年 設計/設計者・設計事務所・設計会社

北九州市の建築 年表

西暦年	1600	1700	1800	1900	1910	1920	1930	1940	1950	1960	1970	1980	1990	2000	2010	2020				
時代区分	1600年代頃から1800年代頃			1800年代頃から1950年代頃						1950年代頃から1990年代頃				1990年代以降						
				1868 明治元年	1912 大正元年	1926 昭和元年				1963 五市合併			1989 平成元年			2019 令和元年				
門司区				24  部埼灯台 1872	11  JR門司港駅 1914	26  ニッカウキスキー(株) 門司工場 倉庫/1916	23  旧大連航路上屋 1929	22  北九州銀行門司支店 1934	19  旧JR九州本社ビル 1937	51  世界平和パゴダ 1958				63  プレミアホテル門司港 1998						
				25  九州鉄道記念館 1891	15  旧門司税関 1912	13  旧大阪商船 1917	16  門司電気通信レトロ館 1924	21  門司区役所 1930		49  門司ゴルフ倶楽部クラブハウス 1960				65  関門海峡ミュージアム 2003						
				27  旧サッポロビール九州工場 醸造棟/1913	14  旧門司三井倶楽部 1921	18  門司港涼山亭 1925~1934	17  門司郵船ビル 1927	20  三宜楼 1931		50  ホーム・リング商会 1962				64  門司港レトロハイマート 1999						
小倉北区	1  小倉城 1609 (推定)			41  BLUE BLUE KOKURA 1890										57  中央図書館・文学館 1974	58  西日本総合展示場 1977	69  梨川タウン・マイリバー 1990	70  小倉城庭園 1998	71  松本清張記念館 1998	73  勝山公園周辺 2006	75  ミニワールドスタジアム 北九州/2017
		2  広寿山福聚寺 1665		42  森鷗外旧居 1897 頃										59  北九州国際会議場 1990	72  北九州メテアドーム 1998	62  リバーウォーク北九州 2003	74  TOTO ミュージアム 2015			
小倉南区	4  大興善寺 山門 1671	3  蒲生八幡神社 本殿 1763				38  春吉の眼鏡橋 1919							52  都市モノレール小倉線 1985	67  北九州市立大学本館 1995	68  小倉競馬場 1999	66  北九州空港旅客ターミナルビル 2006				
若松区				30  石炭会館 1905	29  上野ビル 1913	33  料亭金鍋 本館、表門 1917 頃	28  旧古河鉱業若松ビル 1919	32  朽木ビル 1920	31  火野葺平旧居[河伯河] 1940							48  若戸大橋 1962				
八幡東区				5  九州鉄道茶屋町橋梁 1891	35  官営八幡製鐵所 旧本事務所/1899	47  旧百三銀行八幡支店 1915	34  南河内橋 1926	36  大谷会館 1927		61  旧八幡市民会館 1958	54  東田第一高炉跡 1962	60  福岡ひびき信用金庫本店 1971	78  九州ゴルフ倶楽部 1992	76  国際村交流センター 1993	77  いのちのたび博物館 2001					
八幡西区		6  堀川運河 1762	7  旧高崎家住宅 1835	10  廣旗八幡宮 本殿 1842	37  折尾愛真学園記念館 1909					53  安川電機歴史館 1954			79  ホテルクラウンパレス 北九州/1989	82  長崎街道木屋瀬宿 記念館/2000			80  安川電機みらい館 2015			
		8  寿命の唐戸 1804	9  立場茶屋銀杏屋 1837																	
戸畑区				44  九州工業大学 正門 1909	46  九州工業大学 正門守衛所 1909	45  西日本工業倶楽部 洋館/1912	40  旧安川邸 大座敷 1912	39  戸畑図書館 1933	43  ニッスイ戸畑ビル 1936		48  若戸大橋 1962	56  北九州市立美術館 本館/1974	56  北九州市立美術館 アネックス/1986							



雅と豪快さを併せ持つ、
唐造りの名城

小倉城



リバーウォーク北九州から望む小倉城

小倉城は1602年（慶長7年）に関ヶ原の功臣細川忠興により築城が開始された「唐造り（上階が大きく張り出していること）」が特徴の城であるが、1837年（天保8年）の火災で焼失している。現在の天守閣は1959年（昭和34年）に再築されたものではあるが、隣接するリバーウォークや北九

州市立中央図書館を含め、この天守閣の位置と形状を手掛かりに設計された建物は多く、この天守が小倉の都市景観の形成に及ぼした影響は大きい。特にリバーウォークとの間にはさまれた堀や、切り石を使用せず足立山から運んだ自然石を積み上げた「野面積み」の技法で築かれた石垣は築城当時のまま

の姿を保ち、周辺の建築との間に形成されている都市空間には特筆すべき豊かさがあり、今も市民に愛されている。

多くの天守建築が失われた事例が多いなか、この天守を再築するために努力した先人に敬意を表したい。

（赤川 貴雄）



野面積み



小倉城庭園から望む小倉城

1 小倉城 | 所在地/小倉北区内 2-1 | 竣工/1609年(推定) | 設計/不詳



2 広寿山福聚寺
所在地/小倉北区寿山町 6-7
竣工/1665年 設計/不詳



3 蒲生八幡神社 本殿
所在地/小倉南区蒲生 5-6-10
竣工/1763年 設計/不詳



7 旧高崎家住宅 (伊馬春部生家)
所在地/八幡西区木屋瀬 4-12-5 竣工/1835年 設計/不詳



8 じめからと 寿命の唐戸 (水門)
所在地/八幡西区楠橋西 3-12
竣工/1804年 設計/不詳

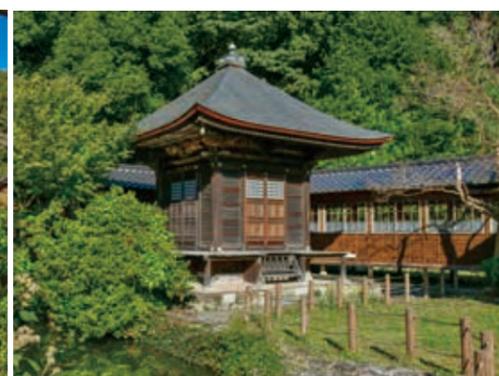


9 たてばぢや いちぢや 立場茶屋銀杏屋
所在地/八幡西区石坂 1-4-6
竣工/1837年 設計/不詳

4 大興善寺
所在地/小倉南区蒲生 2-8-6
竣工/山門: 1671年
舍利殿: 1690年頃
設計/不詳



山門



舍利殿



5 九州鉄道茶屋町橋梁
所在地/八幡東区茶屋町 4
竣工/1891年 設計/不詳



6 堀川運河 所在地/八幡西区大膳ほか 竣工/1762年 設計/不詳



本殿



拝殿・幣殿

10 廣旗八幡宮
所在地/八幡西区楠橋上方 1-4-1 竣工/本殿: 1842年 拝殿・幣殿: 1848年 設計/不詳



旧JR九州本社ビル上から見た門司港駅線路



屋根の大時計



よみがえる、古き良き時代の風格

門司港駅

北九州市は明治の近代化の中で、国家の産業を支える製鉄業の地として、また九州の玄関口としての重要な地位を与えられた。

九州の鉄道の起点駅である門司港駅は、日本では事例の少ない頭端式ホームの駅として設計されているため、ファサードから入構すると列車の先頭が迎えてくれる劇的な構成となっている。ヨーロッパの駅に多くあるように食堂が端部に設けられた構成は旅情を誘う。

駅から出ると、隣接する旧 JR 九州本社ビル、対面する門司郵船ビルによって構成された広場空間が特筆に値する。

保存修理工事を経て、1914年（大正3年）の創建当時の姿に復元されたが、古資料を探しての復元は困難を極め、壁紙や外壁、シャンデリアなどが再現された。屋根にかかる大時計は1918年（大正7年）に取り付けられたことが判明したが、九州初の電気時計として残された。

かつて、門司港駅から関門連絡船の棧橋へとつながっていた通路が現存し、本州との連続性を示唆している。

（赤川 貴雄）



ライトアップした門司港駅

11 JR門司港駅（旧門司駅） | 所在地／門司区西海岸 1-5-31 竣工／1914年 設計／鉄道院九州鉄道管理局工務課



12 関門海峡の景観 (下関市 火の山公園展望台からのぞむ)



13 旧大阪商船
所在地/門司区港町 7-18
竣工/1917年
設計/河合幾次



14 旧門司三井倶楽部 (旧門鉄会館) | 所在地/門司区港町 7-1 竣工/1921年 設計/松田昌平



15 旧門司税関 所在地/門司区東港町 1-24 竣工/1912年 設計/妻木頼黄・咲寿栄一(大蔵省臨時建築部)



21 門司区役所(旧門司市役所)
所在地/門司区清滝 1-1-1
竣工/1930年 設計/倉田謙



22 北九州銀行門司支店
(旧横浜正金銀行門司支店)
所在地/門司区清滝 2-3-4
竣工/1934年 設計/桜井小太郎

20 三宜楼 所在地/門司区清滝 3-6-8 竣工/1931年 設計/不詳



16 門司電気通信レトロ館(旧門司郵便局電話課)
所在地/門司区浜町 4-1
竣工/1924年 設計/山田守(逓信省)



17 門司郵船ビル(旧日本郵船門司支店)
所在地/門司区港町 7-8
竣工/1927年 設計/八島知



18 門司港涼山亭(旧丸山山荘)
所在地/門司区丸山 2-12-6
竣工/1925~1934年 設計/不詳



19 旧JR九州本社ビル(旧三井物産門司支店)
所在地/門司区西海岸 1-6-2
竣工/1937年 設計/松田軍平



23 旧大連航路上屋(旧門司税関1号上屋) 所在地/門司区西海岸 1-3-5 竣工/1929年 設計/大熊喜邦(大蔵省営繕管財局工務課)



24 へさき 部埼灯台
所在地/門司区大字白野江
竣工/1872年 設計/リチャード・ヘンリー・プラントン



25 九州鉄道記念館(旧九州鉄道本社)
所在地/門司区清瀬 2-3-29
竣工/1891年 設計/不詳



事務所棟



倉庫



組合棟



26 ニッカウヰスキー(株)門司工場 倉庫(旧大里製粉所倉庫)
所在地/門司区大里元町 2-1 竣工/1916年 設計/不詳
※一般見学は行っておりません



醸造棟

27 旧サッポロビール九州工場(旧帝国麦酒門司工場)
所在地/門司区大里本町 3-6-1 他
竣工/事務所棟・醸造棟・倉庫:1913年 組合棟:1917年 設計/事務所棟:林栄次郎 醸造棟・組合棟:林栄次郎(推定) 倉庫:不詳



28 旧古河鉱業若松ビル
所在地/若松区本町 1-11-18
竣工/1919年 設計/不詳



29 上野ビル (旧三菱合資会社若松支店)
所在地/若松区本町 1-10-17 竣工/1913年 設計/保岡勝也



30 石炭会館 (旧若松石炭商同業組合)
所在地/若松区本町 1-13-15 竣工/1905年 設計/不詳



31 ひのあしへい かほくどう
火野葦平旧居「河伯洞」
所在地/若松区白山 1-16-18
竣工/1940年 設計/不詳



32 とちき
枋木ビル
所在地/若松区本町 1-15-10
竣工/1920年 設計/松田昌平



33 料亭金鍋 本館、表門
所在地/若松区本町 2-4-22
竣工/1917年頃 設計/不詳



南河内橋



猿渡橋



中河内橋



北河内橋

34 南河内橋・北河内橋・中河内橋・猿渡橋
所在地/八幡東区大字河内3
竣工/南河内橋：1926年
北河内橋・中河内橋・猿渡橋：1927年
設計/八幡製鐵所

世界遺産のある街

平成27年7月5日、第39回ユネスコ世界遺産委員会において、幕末から明治時代にかけて日本の近代化に貢献した産業遺産群、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」が世界文化遺産に登録決定されました。
この遺産群は、北九州市を含む8県11市にまたがる23資産からなり、本市の官営八幡製鐵所関連施設が構成資産に含まれています。



修繕工場



旧鍛冶工場



旧本事務所

35 官営八幡製鐵所〔旧本事務所、修繕工場、旧鍛冶工場〕 所在地/八幡東区大字尾倉 設計/不詳
竣工/旧本事務所：1899年 修繕工場・旧鍛冶工場：1900年
※一般には非公開の施設です。旧本事務所外観は眺望スペースから見られます。 写真提供：日本製鉄(株)九州製鐵所



36 大谷会館
所在地/八幡東区大谷1-2-4
竣工/1927年 設計/八幡製鐵所



37 折尾愛真学園記念館(旧折尾警察署庁舎)
所在地/八幡西区堀川町12-10
竣工/1909年 設計/不詳



38 春吉の眼鏡橋 所在地/小倉南区春吉 397-7 竣工/1919年 設計/不詳



41 BLUE BLUE KOKURA (旧小倉警察署庁舎)
所在地/小倉北区室町 2-2-1
竣工/1890年 設計/白水碩次郎



42 森鷗外旧居
所在地/小倉北区鍛冶町 1-7-2
竣工/1897年頃 設計/不詳



39 北九州市立戸畑図書館 (旧戸畑市役所)
所在地/戸畑区新池 1-1-1 改修/2014年 設計/㈱青木茂建築工房
所在地/同上 竣工/1933年 設計/福岡県営繕課



40 旧安川邸 大座敷
所在地/戸畑区一枝 1-4-23
竣工/1912年(移築) 設計/不詳



43 ニッスイ戸畑ビル (旧共同漁業ビル)
所在地/戸畑区銀座 2-6-27
竣工/1936年 設計/㈱竹中工務店

辰野金吾氏による建築群 *Buildings designed by Tatsuno Kingo*



正門



学生支援プラザ



記念講堂



鳳龍会館

44 九州工業大学(旧明治専門学校)
 正門、学生支援プラザ、記念講堂、鳳龍会館
 所在地/戸畑区仙水町 1-1
 竣工/正門: 1909年
 学生支援プラザ: 1927年(2007年改修)
 記念講堂: 1960年
 鳳龍会館: 1961年
 設計/正門・学生支援プラザ: 不詳
 記念講堂・鳳龍会館: 清家清



45 西日本工業倶楽部 洋館(旧松本家住宅) 所在地/戸畑区一枝 1-4-33 竣工/1912年 設計/辰野・片岡事務所



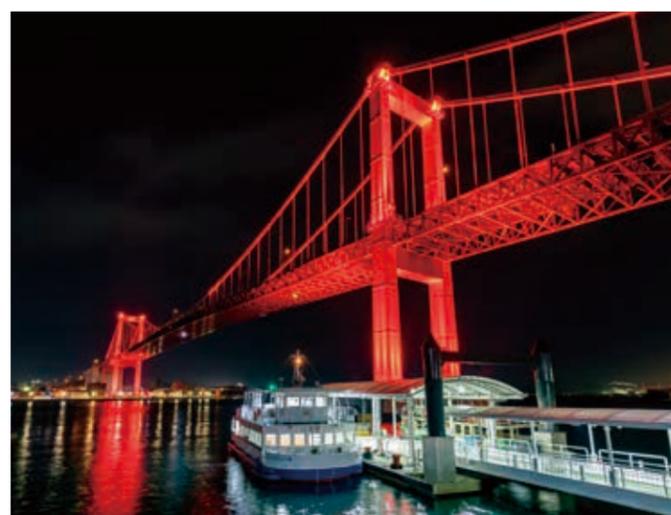
46 九州工業大学(旧明治専門学校) 正門守衛所
 所在地/戸畑区仙水町 1-1
 竣工/1909年 設計/辰野金吾・葛西萬司



47 旧百三十銀行八幡支店
 所在地/八幡東区西本町 1-20-2
 竣工/1915年 設計/辰野・片岡事務所

真っ赤な橋が夢をつないだ、
日本初の長大吊橋

若戸大橋



ライトアップされた若戸大橋

かつて「東洋一の夢の吊橋」と呼ばれた若戸大橋は1962年(昭和37年)に完成した日本初の長大吊橋であり、全長2.1kmのうち吊橋部は627mで、高さ84mの主塔2本により支えられている。

洞海湾という日本の工業を支える港に出入りする大型貨物船が通過できるように満潮時の桁下の高さが40mになっており、自動車で通過するとその急傾斜の上昇・下降体験はかなりダイナミックなものである。

橋上からは北九州の主要な景観要素である皿倉山や足立山、戸畑・小倉・八幡の工場群を眺めることができ、若松方向に夕刻走ると、夕日に輝く洞海湾が美しい。

若戸大橋は1964年の東京オリンピックの主要会場の一つであった丹下健三設計の国立代々木競技場の設計・建築の参考事例とされ、国家的イベントに貢献した重要な建造物であることは北九州市民の誇りである。

(赤川 貴雄)



くきのうみ花火の祭典



橋脚

48 若戸大橋 | 所在地/戸畑区川代~若松区本町 竣工/1962年 設計/旧日本道路公団



南棟



スタートハウス



内観

49 門司ゴルフ倶楽部クラブハウス | 所在地/門司区大字吉志 175 竣工/1960年 設計/アントニン・レーモンド



53 安川電機歴史館 (安川電機旧本社事務所講堂)
所在地/八幡西区黒崎城石 2-1
竣工/1954年 設計/アントニン・レーモンド
※写真提供: (株)安川電機



54 東田第一高炉跡
所在地/八幡東区東田 2-3-12
竣工/1962年 設計/八幡製鐵所



50 ホーム・リング商会
所在地/門司区港町 9-9 竣工/1962年 設計/不詳



51 世界平和バゴダ
所在地/門司区大字門司 3251-4
竣工/1958年 設計/不詳



52 都市モノレール小倉線
所在地/小倉北区・小倉南区 竣工/1985年



55 八幡駅前通り | 所在地/八幡東区西本町他

磯崎新氏による建築群 *Buildings designed by Isozaki Arata*

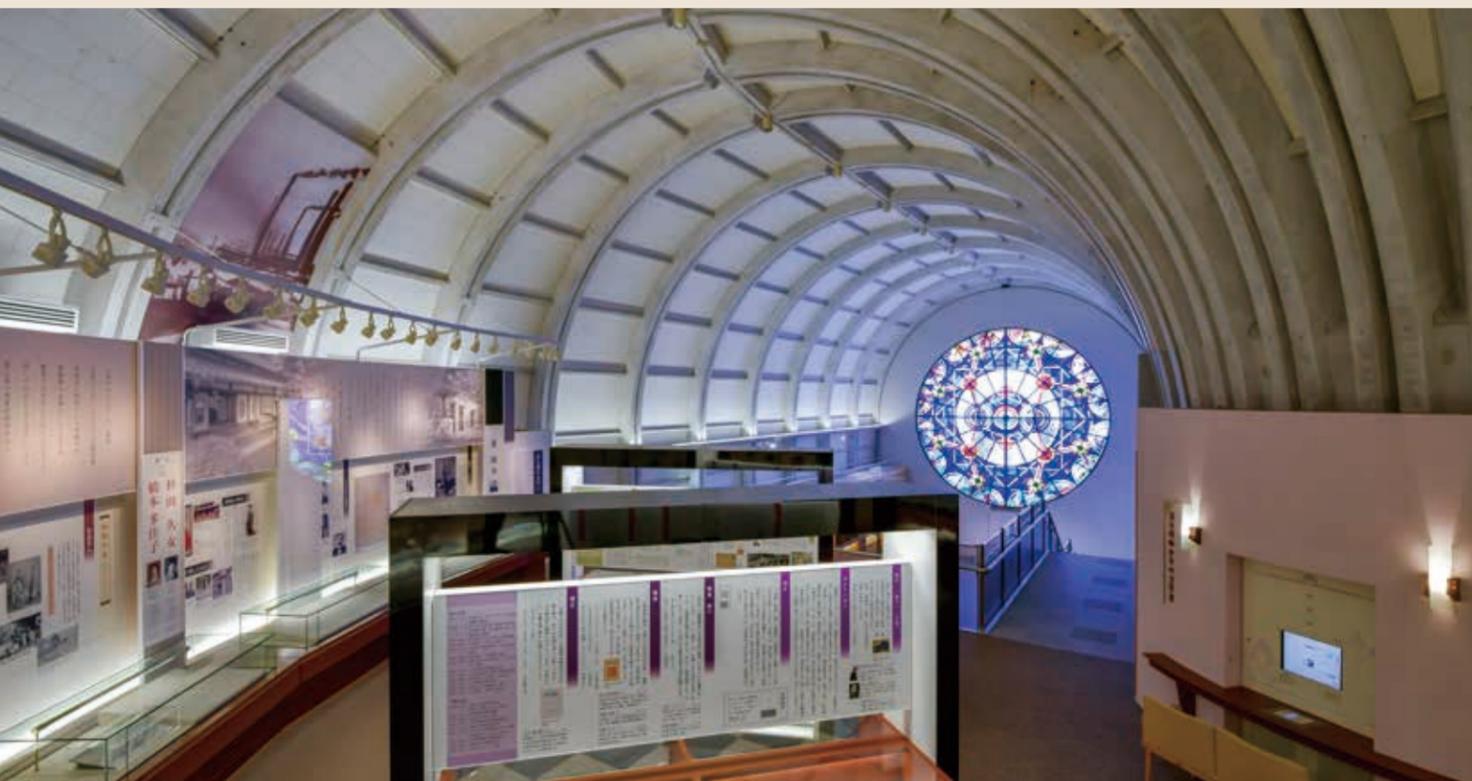
プリツカー賞とは、「建築界のノーベル賞」とも呼ばれる最も権威のある建築賞である。北九州市内には2019年にこの賞を受賞した磯崎新氏の設計した4つの公共建築がある。

「北九州市立中央図書館・文学館」は、勝山公園のなだらかな傾斜地に位置する。ヴォールト屋根が作り出す静謐な内部空間に加え、小倉城に向かう軸線を強調した配置構成が特徴的だ。「北九州市立美術館」は、洞海湾まで一望する鞘ヶ谷の丘の上に位置する。2本の四角い筒が丘から突き出したようなダイナミックな構成が特徴的だ。両建築は磯崎氏の初期の代表作とされ、その力強い空間性から『図書館戦争』をはじめとする映画の舞台ともなっている。

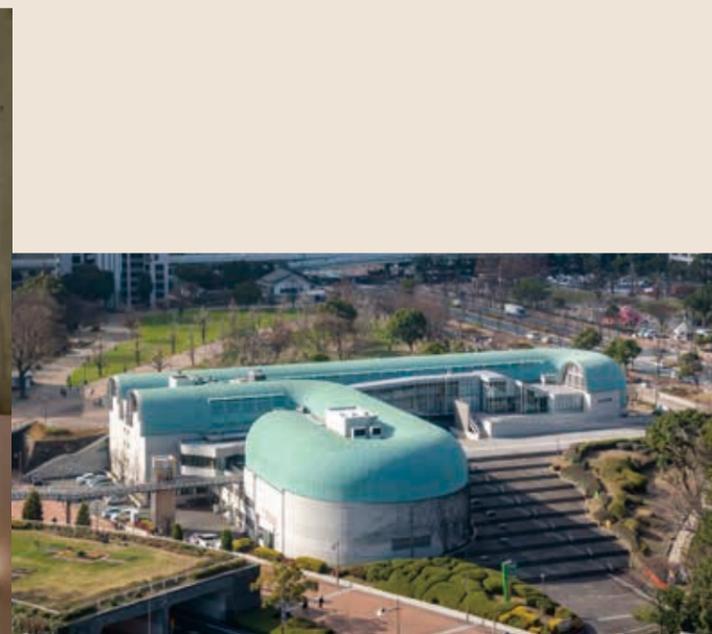
「西日本総合展示場」は小倉駅北側のかつての中央卸売市場跡地に建つ。帆船を思わせる斜め張りロープを支えるマストの列が、臨港地帯特有の風景に呼応している。隣に建つ「北九州国際会議場」は、波打つ屋根形状と柔らかな色彩が海辺に独特な彩りをもたらしている。

(三笠 友洋)

56 北九州市立美術館 本館、アネックス
所在地/戸畑区西鞘ヶ谷町 21-1
竣工/本館:1974年
アネックス:1986年
設計/磯崎新アトリエ



文学館 内観



中央図書館・文学館 外観

57 北九州市立中央図書館・文学館
所在地/小倉北区内 4-1
竣工/1974年 設計/磯崎新アトリエ

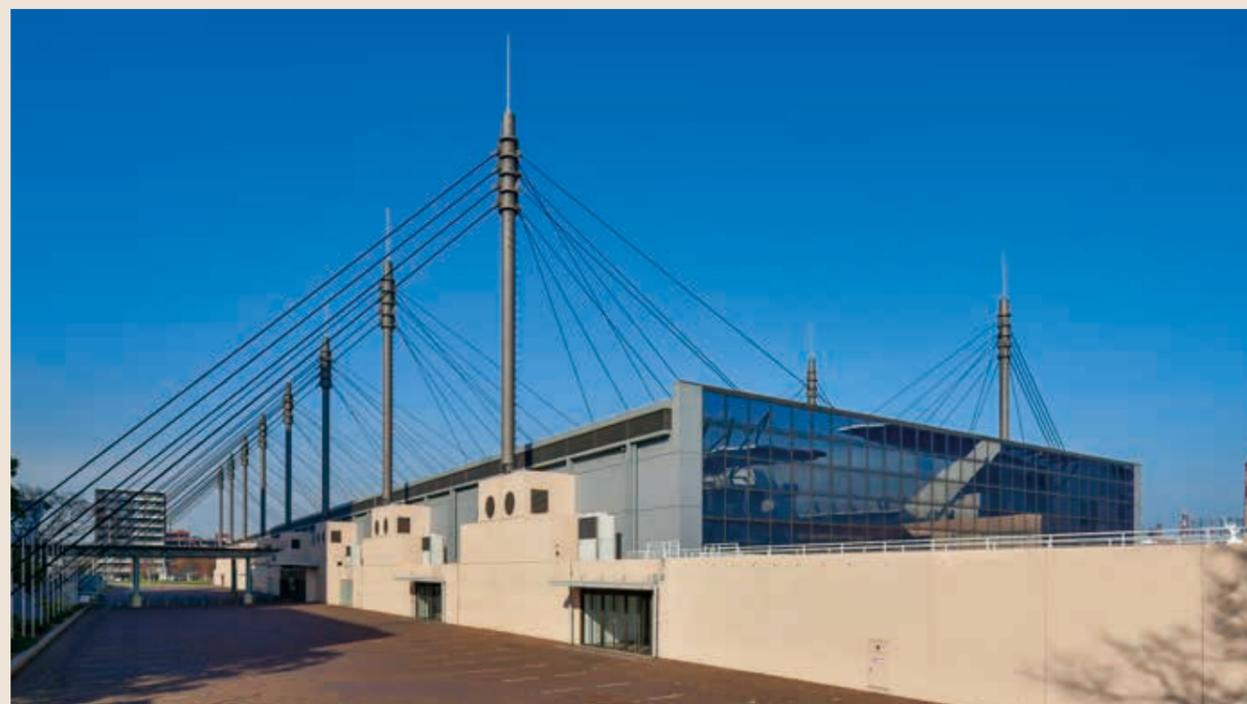


美術館 内観

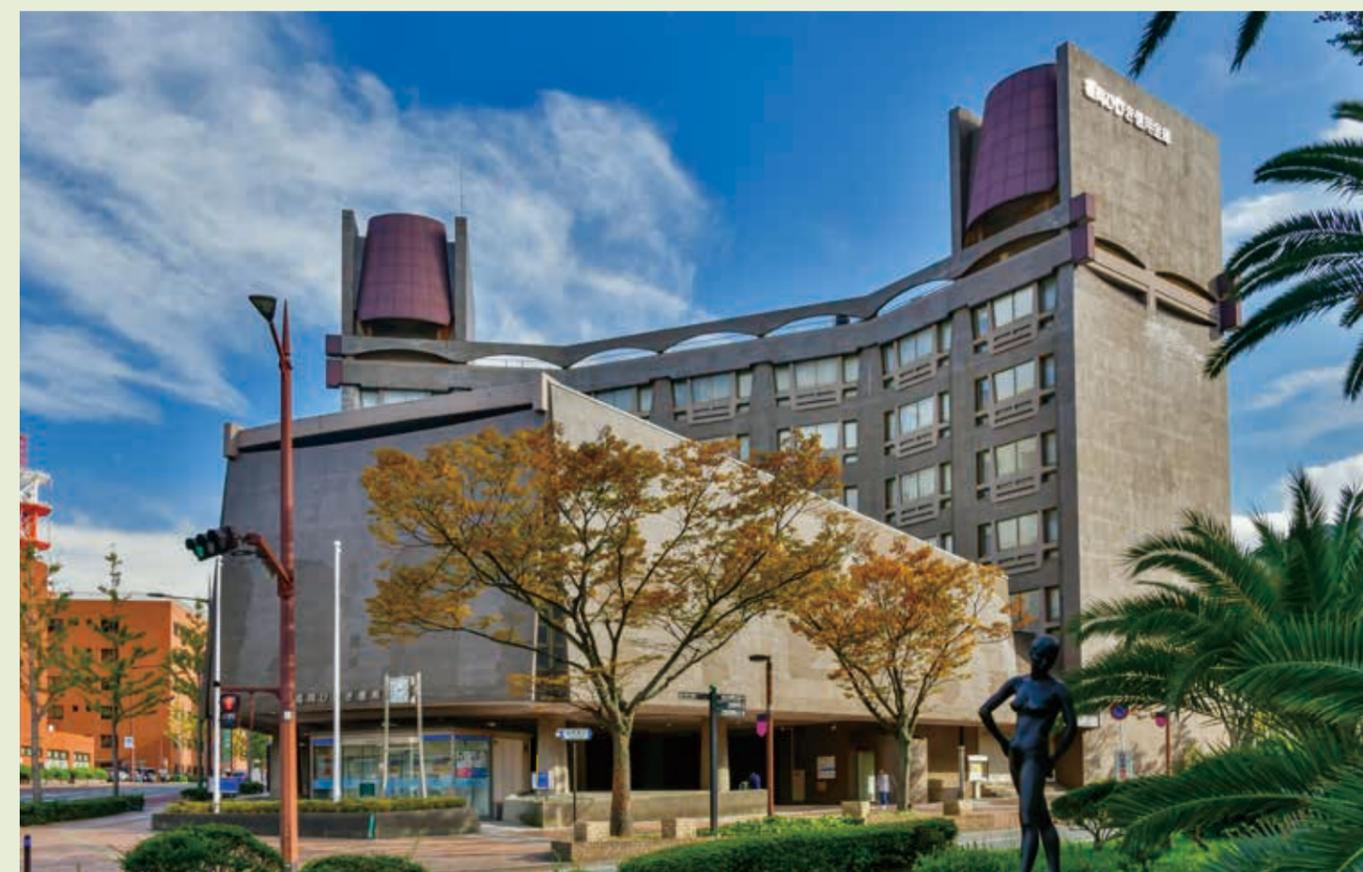


アネックス

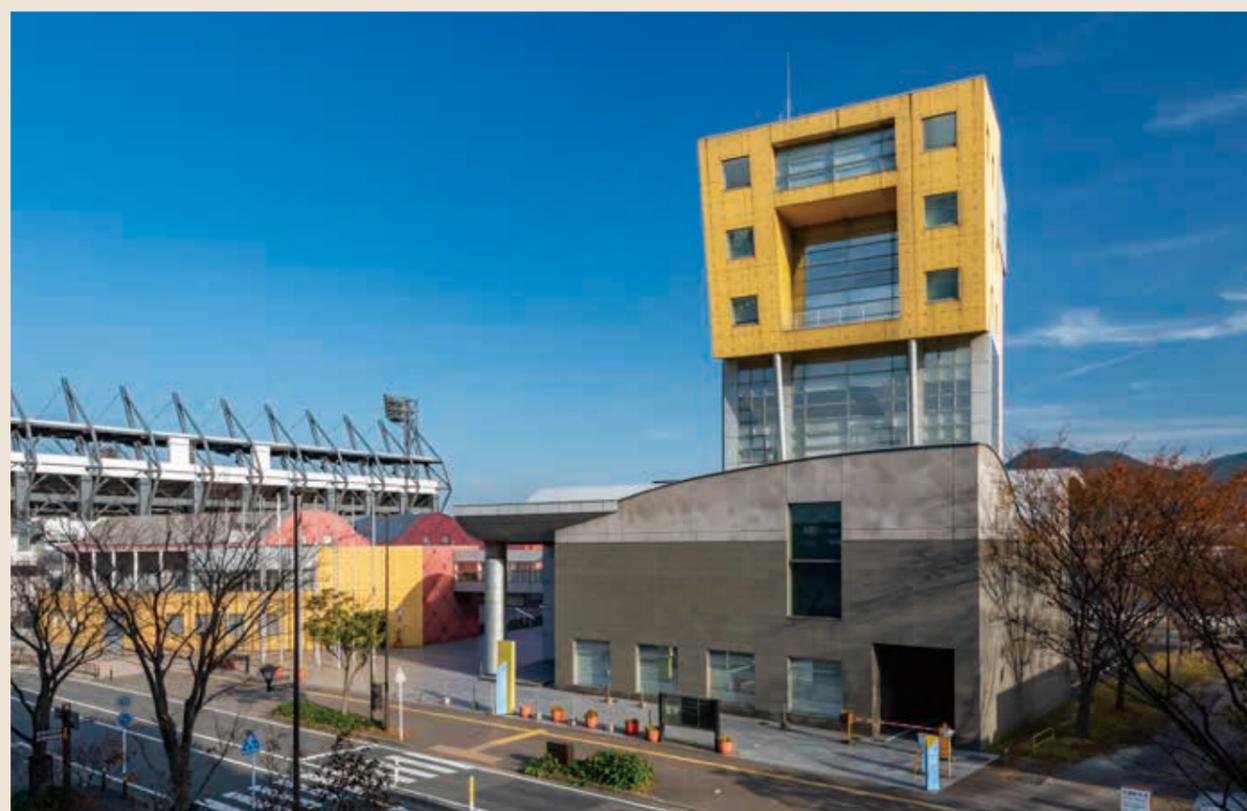
村野藤吾氏による建築群 *Buildings designed by Murano Togo*



58 西日本総合展示場 所在地/小倉北区浅野 3-7-1 竣工/1977年 設計/㈱磯崎新アトリエ



60 福岡ひびき信用金庫本店(旧北九州八幡信用金庫) 所在地/八幡東区尾倉 2-8-1 竣工/1971年 設計/村野藤吾



59 北九州国際会議場 所在地/小倉北区浅野 3-9-30 竣工/1990年 設計/㈱磯崎新アトリエ



61 旧八幡市民会館 所在地/八幡東区尾倉 2-6-5 竣工/1958年 設計/村野・森建築事務所

日本の伝統色で彩られた、都市の中の「街」

リバーウォーク北九州



62 リバーウォーク北九州
所在地/小倉北区室町 1-1-1 竣工/2003年 設計/㈱日本設計 デザイン(建築):ザ・ジャーティ・パートナーシップ社

1990年代以降、北九州市の都市景観は一気に多彩な装いを帯びる。北九州市ルネッサンス構想の元、門司港レトロ地区整備や東田の八幡製鐵所跡地開発など、各地区の歴史的な文脈を生かしつつ大胆にその構造を転換させる事業を展開したためだ。中でも象徴的なのが、紫川マイタウン・マイリバー整備事業とその中核をなすリバーウォーク北九州だろう。

リバーウォーク北九州は、ジョン・ジャーティによる商業棟とマイケル・グレイブスによる大学棟からなる。前者に

は商業施設のほか美術館や放送局など多様な文化施設が、後者には西日本工業大学が入り、それらが小倉城や勝山公園と連担することで都市の賑わい核を形成している。外観は一見独創的に見えるが、「漆」や「稲穂」などの伝統的色彩や工業都市の原風景をメタファとした形状を採用するなど歴史的な文脈を反映しているとされ、周辺の自然とあいまって、北九州市を代表する都市景観として市民に親しまれている。

(三笠 友洋)



西日本工業大学 小倉キャンパス



リバーウォーク北九州 クリスマスイルミネーション



63 プレミアホテル門司港(旧門司港ホテル)
所在地/門司区港町 9-11 竣工/1998年 設計/ロッシ・アジミ・堀口+SDA (株)レック都市地域研究所 内田繁+スタジオ 80



66 北九州空港旅客ターミナルビル 所在地/小倉南区空港北町 6 竣工/2006年 設計/梓・HOK新北九州空港旅客ターミナルビル設計共同企業体



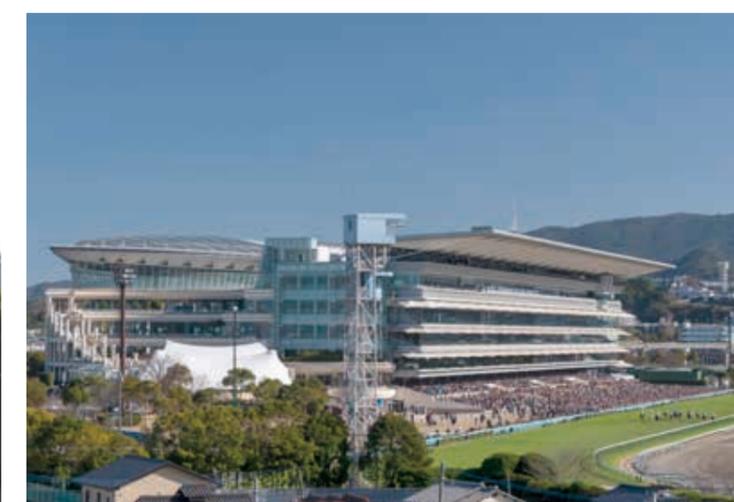
64 門司港レトロハイマート
所在地/門司区東港町 1-32
竣工/1999年 設計/黒川紀章



65 関門海峡ミュージアム
所在地/門司区西海岸 1-3-3 竣工/2003年
設計/環境デザイン研究所・大崎・総合設備・トーホー設備・森川設計業務共同企業体



67 北九州市立大学本館
所在地/小倉南区北方 4-2-1
竣工/1995年 設計/(株)池原義郎・建築設計事務所 (株)構造計画研究所



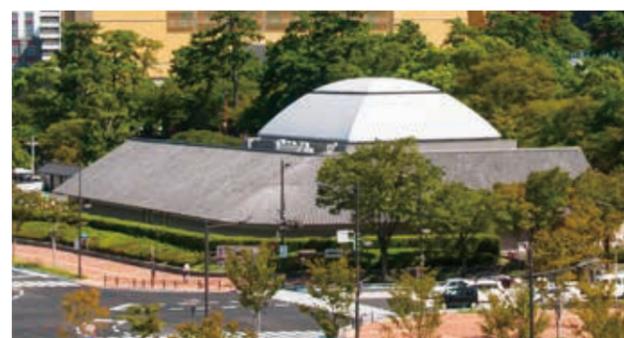
68 小倉競馬場
所在地/小倉南区北方 4-5-1
竣工/1999年 設計/日本競馬施設(株) (株)東畑建築事務所



69 紫川マイタウン・マイリバー
所在地/小倉北区紫川河口～貴船橋付近 竣工/1990年



70 小倉城庭園
所在地/小倉北区城内1-2 竣工/1998年 設計/澤良雄・日向進(監修)



71 松本清張記念館
所在地/小倉北区城内2-3 竣工/1998年 設計/宮本忠長建築設計事務所



73 勝山公園周辺
所在地/小倉北区城内 竣工/2006年



74 TOTOミュージアム
所在地/小倉北区中島2-1-1 竣工/2015年 設計/榑梓設計



72 北九州メディアドーム 所在地/小倉北区三萩野3-1-1 竣工/1998年 設計/榑菊竹清訓建築設計事務所



75 ミズホワールドスタジアム北九州 所在地/小倉北区浅野3-9-33 竣工/2017年 設計/榑梓設計九州支社



76 国際村交流センター | 所在地/八幡東区平野 1-1 | 竣工/1993年 | 設計/石井・サム設計共同企業体



79 ホテルクラウンパレス北九州 (旧北九州プリンスホテル)
所在地/八幡西区東曲里町 3-1
竣工/1989年 | 設計/池原義郎・建築設計工房



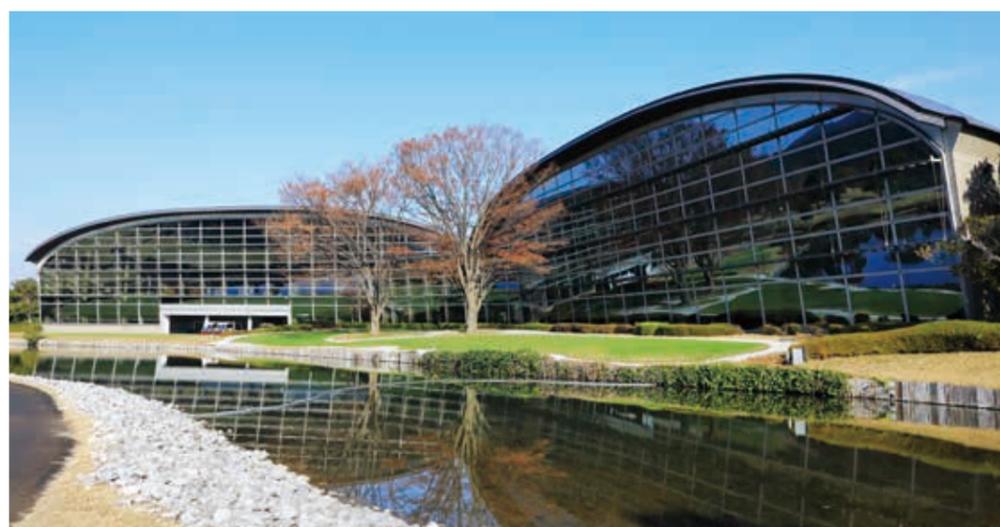
80 安川電機みらい館
所在地/八幡西区黒崎城石 2-1
竣工/2015年 | 設計/㈱三菱地所設計 ※写真提供: ㈱安川電機



77 いのちのたび博物館 | 所在地/八幡東区東田 2-4-1 | 竣工/2001年 | 設計/㈱久米設計



81 木屋瀬のまちなみ



78 九州ゴルフ倶楽部八幡コース
クラブハウス
所在地/八幡東区大字小野 1467
竣工/1992年
設計/黒川紀章
※一般見学は行っておりません



みちの郷土史料館



こやのせ座

82 長崎街道木屋瀬宿記念館 | 所在地/八幡西区木屋瀬 3-16-26 | 竣工/2000年 | 設計/㈱サム建築研究所

夜景

多彩な夜景が楽しめる
「日本新三大夜景都市」に認定



83 皿倉山からの夜景



84 門司港レトロ展望室からの夜景

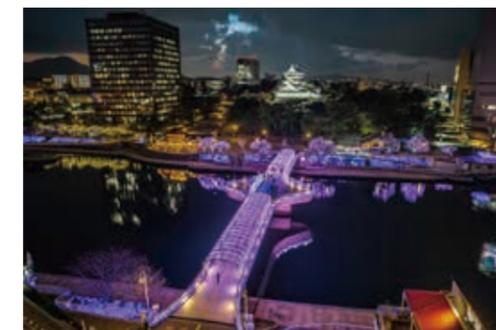
全国約 5,500 人の夜景観賞士の投票により、2018 年に「日本新三大夜景都市」に認定された北九州市。「皿倉山」、「高塔山」、「足立公園」、「門司港レトロ展望室」、「小倉イルミネーション」、「戸畑祇園大山笠」の 6 つの夜景遺産を有するほか、小倉城や若戸大橋、門司港レトロ地区などのライトアップ整備も進み、魅力ある夜景スポットが次々と生まれている。

標高 622m の山頂から大パノラマの夜景が一望できる「皿倉山」は、国内屈指の夜景の名所。ライトアップされた若戸大橋を眼下に望む「高塔山」とともに、工場と街の灯りが融合した絶景を楽しめる。

「門司港レトロ展望室」では、門司港レトロ地区のノスタルジックな夜景と、関門橋や下関の雄大な夜景を望むことができ、国内外の多くの観光客で

賑わっている。

そのほか、JR 小倉駅や紫川周辺など街の各所で開催される冬の風物詩「小倉イルミネーション」や、ダイナミックな工場夜景などを船上から楽しむ「夜景観賞定期クルーズ」など、多彩な視点から光が織りなす風景を鑑賞できるのが北九州の夜景の魅力といえる。



85 小倉イルミネーション



86 足立山からの夜景



87 高塔山からの夜景

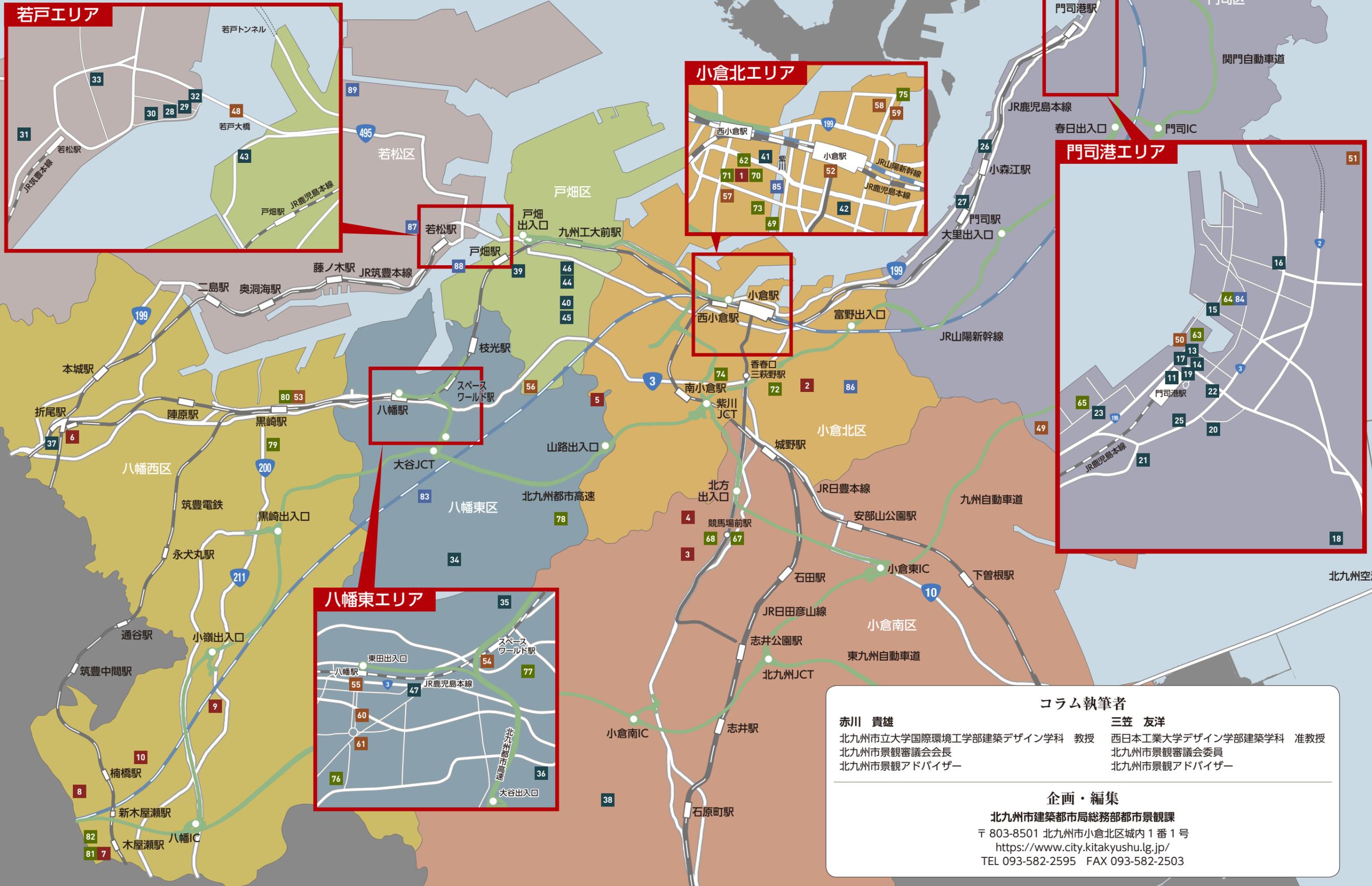


88 工場夜景 (若松区 高塔山展望台より戸畑方面をのぞむ)



89 工場夜景 (若松区向洋町よりひびきエル・エヌ・ジー株式会社)

北九州市の建築 位置マップ



コラム執筆者

赤川 貴雄 北九州市立大学国際環境工学部建築デザイン学科 教授 北九州市景観審議会会長 北九州市景観アドバイザー	三笠 友洋 西日本工業大学デザイン学部建築学科 准教授 北九州市景観審議会委員 北九州市景観アドバイザー
--	--

企画・編集
北九州市建築都市局総務部都市景観課
〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/>
TEL 093-582-2595 FAX 093-582-2503